

CPAS公開シンポジウム2025

アメリカ史研究の新地平

例外主義を乗り越えて

日時 2025年12月13日（土）13:30 - 17:00

会場 東京大学駒場キャンパス18号館コラボレーションルーム1 ([地図](#))

司会 橋川健竜（東京大学）

報告 中野耕太郎（東京大学）

「循環するアメリカニズム——グローバル・ヒストリー後のアメリカ史研究」

中野博文（北九州市立大学）

「国境を越える市民兵——帝国、国民国家、グローバリゼーション」

山中美潮（上智大学）

「予期せぬ同胞——20世紀初頭ルイジアナ州における有色のクレオールとフランス系カナダ人」

溝口聰（関西外国語大学）

「冷戦政策と教育援助の交錯——南ベトナム国家建設におけるミシガン州立大学

顧問団の役割に着目して」

討論 松原宏之（立教大学）

主催 東京大学グローバル地域研究機構アメリカ太平洋地域研究センター（CPAS）

共催 東京大学グローバル地域研究機構（IAGS）

科学研究費助成事業 基盤研究（C）「平和部隊・VISTA政策と現代アメリカの

形成：1970年代における史的転換の再検討」

後援 アメリカ研究振興会

問い合わせ先 res@cpas.c.u-tokyo.ac.jp